



今月のイチオシ化石紹介

Apitrigonia minor (上)

Yeharella kimurai (下)

三畳紀に出現したサンカクガイの仲間は、ジュラ紀から種数が増え始め白亜紀に最大となった。世界中の中生界から産出が報告されている一方で、新生代には始新世～中新世に産出記録のある *Eotrigonia* 属と現世の *Neotrigonia* 属が知られているのみである。

サンカクガイ類の殻装飾はその名称が細かく決められており、種決定に利用されている (図

1)。足沢層から産する *Apiotrigonia minor* は *Apiotrigonia* 属の 1 種で、白亜紀後期 Coniacian～Santonian に生存していた種である。殻表には同心円状ないし水平方向に整列した肋と、放射状に発達した肋が作る L 字状の装飾が特徴的にみられる (田代, 1992)。

足沢層からは *Apiotrigonia minor* 以外に、*Yeharella kimurai* も産出する。*Yeharella* 属はやや大きめから大きめの亜四角ないし亜卵形の殻をもつサンカクガイ類で、*Yeharella kimurai* は体験発掘露頭から見つかる二枚貝の中では大型の種である。以前は *Yaadia* 属に所属していたが、近年では *Yeharella* 属とされている (例えば Cooper and Leanza, 2017)。*Yeharella* 属は先行する *Yaadia* 属から進化し、最も古い種は Cenomanian から報告され、Maastrichtian まで化石記録が知られている。*Yeharella kimurai* の生存期間は Coniacian とされている。

サンカクガイの仲間は現在のアサリやハマグリとは異なり軟体部の水管を発達させておらず、殻の長さ以上の深さには潜れないので海底面下の比較的浅い場所に生活している (図 2)。そのため、水管を持ちより深い場所まで潜ることが可能な二枚貝類との生存競争に敗れ、新生代以降衰退した、とする仮説も唱えられている。

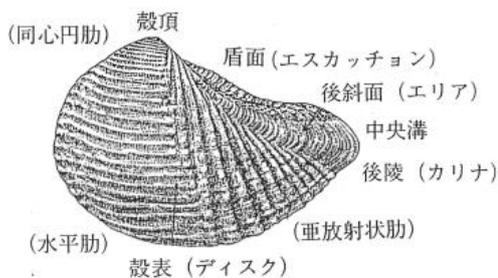


図 1. サンカクガイ各部の名称。田代 (1992)より引用。

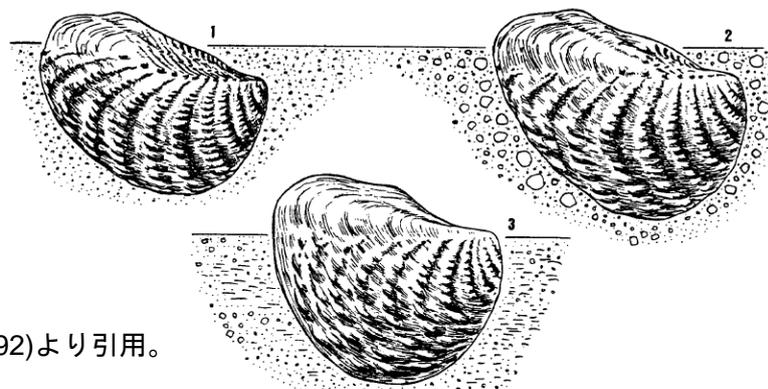


図 2. *Yeharella* 属の生息姿勢。田代・松田 (1988)より引用。

(参考文献)

Cooper, M. R. and H. A. Leanza, 2017. On the Steinmanellidae (Bivalvia: Myophorelloidea); their palaeobiogeography, evolution and classification. *Neues Jahrbuch für Geologie und Paläontologie-Abhandlungen*, 285(3); 313-335.

田代正之, 1992. 化石図鑑：日本の中生代白亜紀二枚貝. pp. 307.

田代正之・松田智子, 1988. 白亜紀三角貝の生活様式. *化石*, 45; 9-21.

9月の行事報告

- ・体験発掘

開催回数：18回

- ・特別体験発掘

開催回数：4回

- ・化石講演会

今年度の化石講演会は筑波大学の上松佐知子先生を講師にお迎えし、「古生代の海を探検しよう！」と題して久之浜中学校体育館に於いて9月5日(木)に開催した(写真1)。

講演では古生代最初の時代であるカンブリア紀に焦点を当て、バージェス頁岩動物群に

代表される「カンブリア爆発」についてお話しいただいた。バージェス頁岩動物群に属する生物達が様々な形態を発展させた要因として、それまでの地球上には存在しなかった被食 - 捕食関係が成立した事や、その関係が成立した原因として眼を持つ生物種の誕生が考えられている事など、図表を交え分かりやすく講演していただいた。



写真 1. 講演会当日の会場内の様子。

- ・親子自然探訪教室「不思議なキノコを探しにいこう！」

今年度の第三回親子自然探訪教室は、いわきキノコ同好会々長の富田武子先生を講師としてお迎えし 9 月 23 日 (月・秋分の日) に実施された。当日は、小雨の降るなかアンモナイトセンターからほど近い山林の中でキノコの採集を行い、センター内の研修室に於いて採集したキノコの同定を行った。



写真 2. 採集したキノコを室内で並べる。この後、キノコの同定作業に移る。



写真3. 採集したキノコの一部。左はタマゴタケ、右はシロオニタケ。

※いわきキノコ同好会ではキノコ好きの若手を募集している由、興味のある方は是非とも一度同好会に連絡を取られたし。

- ・出前講座「化石博士になろう」

9月28日(土)に藤原公民館に於いて、小学生向けの出前講座「化石博士になろう」を実施した。

10月の行事予定

- ・体験発掘 (毎週土曜・日曜および14日月曜日の10時～11時30分及び13時30分～15時、但し雨天中止)

※14日は三連休のため臨時開催

お知らせ(重要!)

Notice!! Notice!!

HP や館内表示でもご案内しておりますが、体験発掘に参加される際は**運動靴または長靴**を履いてご参加ください。サンダル(クロックス含む)や踵の高い靴での体験発掘場への入場は安全確保のため、お断りしております。皆さまのご理解とご協力をお願い致します。

ボランティア募集

アンモナイトセンターでは、センターの活動を支援してくださるボランティアの方を募集しています。詳しくは、お電話・E-Mail、または職員にお声がけください。



いわき市アンモナイトセンター

〒979-0338 福島県いわき市大久町大久字鶴房147-2

TEL : 0246-82-4561 FAX : 0246-82-4468

URL : <http://www.ammonite-center.jp>

E-mail : info@ammonite-center.jp